

さいたま市

洪水ハザードマップ

(綾瀬川・元荒川・大落古利根川・新方川)

■洪水ハザードマップとは

- 100年に1回程度降る大雨(2日間の総雨量355mm)を想定し、中川、綾瀬川、元荒川及び大落古利根川、新方川の水位が上昇し、堤防が決壊または堤防から越流した場合や流域内の地形条件などにより内水はん濫した場合に想定される浸水の状態をシミュレーションにより求めた浸水想定区域(浸水する範囲とその程度)及び避難場所などを示したマップです。
- 雨の降り方や土地利用形態の変化などにより、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- この浸水想定区域は利根川や江戸川、中川・綾瀬川の国管理区間、中川、綾瀬川、元荒川及び大落古利根川、新方川流域以外の河川のはん濫を考慮していないため、その影響が考えられる区域では、それらの河川の浸水想定区域図を参照する必要があります。

